

安全データシート

作成:2017年 7月 18日

改訂:2022年 6月 30日

1. 製品及び会社情報

整理番号 :KF113-03
製品名 :ナエファインフロアブル
会社名 :クミアイ化学工業株式会社
住所 :東京都台東区池之端 1-4-26
担当部門 :サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号 :03-3822-5180
FAX番号 :03-3823-6830
緊急連絡先 :同上
推奨用途及び使用上の制限 :農薬

2. 危険有害性の分類

GHS分類

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示:該当なし

注意喚起語:該当なし

危険有害性情報:該当なし

注意書き

【安全対策】

該当しない

【応急処置】

該当しない

【保管】

・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

化学名: tert-ブチル(6-[[(Z) -(1-メチル-1H-5-テトラゾリル)(フェニル)メチレン]アミノオキシメチル]-2-ピリジル)カルバマート / 一般名 ピカルブトラゾクス

成分及び含有量: ピカルブトラゾクス	10.0%
<その他> 水、界面活性剤等	90.0%

化学式: $C_{20}H_{23}N_7O_3$ / ピカルブトラゾクス

官報公示整理番号: 安衛法 8-(1)-3702 / ピカルブトラゾクス

CAS No.: 500207-04-5 / ピカルブトラゾクス

4. 応急措置

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合、医師の診察 / 手当を受けること。

皮膚に付着した場合: 汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぐ、多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察 / 手当を受けること。

吸入した場合: 被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師に連絡する。

飲み込んだ場合: 水で口の中を洗浄し、直ちに医師の手当を受ける。無理に吐き出させない。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

応急措置をする者の保護: 救助者は有害物質に触れないよう、手袋やゴーグル、マスク等の保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤: 霧状の水、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス消火剤

使ってはならない消火剤: 特になし

特有の危険有害性: 燃焼によって有毒ガスを生成する。

消火方法: 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。消火作業は風上から行う。周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動できない場合、容器に放水し、冷却する。

消火を行う者の特別な保護具及び予防措置: 燃焼により毒性・有害性ガスを発生するので、自給式

呼吸器を含む消火保護具を着用のこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：人を退避させ、飛散・漏出した周辺にロープを張り、「立入禁止」の措置を行う。作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。風上から近づく。眼、皮膚、衣類につけないこと。ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。十分な換気を確保する。

環境に対する注意事項：排水溝または水路への侵入を防ぐ。

封じ込め方法：ウエス、スコップ等でできるだけ空容器に回収する。必要なら砂等をまいてできるだけ回収する。

浄化方法：回収したあとは、多量の水で洗い流す。濃い溶液が河川・用水路に流れないように注意する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項：作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。取扱い後はよく手、顔を洗うこと。皮膚、目、あるいは衣服との接触を避ける。ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

接触回避：「10. 安全性及び反応性」を参照

保管

安全な保管条件：換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置き、日光から遮断すること。食品、飲料、動物用のエサからは離して保管すること。酸化剤、強酸および強塩基から離して保管する。子供の手の届かないところに置くこと。

安全な容器包装材料：情報なし。

8. ばく露防止措置

許容濃度：ピカルブトラゾクス 第3種粉じん：吸入性粉じん $2 \text{ mg}/\text{m}^3$ 総粉じん $8 \text{ mg}/\text{m}^3$ 日本産業衛生学会（2021年度）

設備対策：屋内使用の場合、装置を密閉化し、局所排気装置又は全体排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、シャワー・洗眼器を設置する。

保護具

呼吸用保護具：防塵マスク

保護手袋：ゴム製の保護手袋、PVC 製保護手袋、不浸透性手袋

保護眼鏡：ゴーグル

保護衣：保護帽子、保護服、保護長靴等

9. 物理・化学的性質

外観等	: 類白色粘稠液体
臭い	: 特異臭
pH	: 5 - 9 (代表値 7.5)
融点・凝固点	: データなし
沸点・初留点及び沸騰範囲	: 100°C
引火点	: 引火点なし
自然発火点	: 自然発火点なし
分解温度	: データなし
燃焼性	: データなし
爆発下限及び爆発限界上限界／可燃限界	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: 1.04 - 1.06 (代表値 1.05)
溶解度	: データなし
n-オクタノール／水分配係数(log 値)	: データなし
分解温度	: データなし
動粘性率	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: 粒子サイズ: $\leq 5 \mu\text{m}$ (d50)

10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし
化学的安定性	: 通常の取扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 直射日光。熱。高温。
混触危険物質	: 酸化剤、強酸および強塩基。
危険有害な分解生成物	: 燃焼によって次のものを生成する: 一酸化炭素。二酸化炭素。窒素酸化物(NO_x)。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: LD_{50} ラット(♀) >2,000mg/kg
急性毒性(経皮)	: LD_{50} ラット(♂ ♀) >2,000mg/kg
急性毒性(吸入: 気体)	: 区分に該当しない(分類対象外)
急性毒性(吸入: 蒸気)	: 分類できない
急性毒性(吸入: 粉末)	: 分類できない

皮膚腐食性／刺激性	:ウサギ 皮膚刺激性なし 区分に該当しない pH 5-9(代表値 7.5)
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	:ウサギ ごく弱い刺激性 区分に該当しない pH 5-9(代表値 7.5)
呼吸器感作性	:分類できない
皮膚感作性	:区分に該当しない モルモット 皮膚感作性なし
生殖細胞変異原性	:分類できない ピカルブトラゾクス:生殖細胞変異原性:Ames 試験:陰性、染色体異常試験:陰性、小核試験:陰性(マウス)
発がん性	:分類できない ピカルブトラゾクス:発がん性なし(マウス、ラット)
生殖毒性	:分類できない ピカルブトラゾクス:生殖毒性:繁殖毒性試験:繁殖毒性なし(ラット)、催奇形成試験:陰性(ラット)、陰性(ウサギ)
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	:分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	:分類できない ピカルブトラゾクス:特定標的臓器毒性(反復ばく露):データなし。慢性毒性試験 NOAEL(ラット): 2.84 mg/kg/day(♂)(1年)、3.48 mg/kg/day(♀)(1年) NOAEL(イヌ):5.13 mg/kg/day(♂) (1年)、5.23 mg/kg/day(♀)(1年)
誤えん有害性	:分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)	:区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性)	:区分に該当しない
魚	:コイ LC ₅₀ >1,000 mg/l (96hr)
甲殻類	:ミジンコ EC ₅₀ 125 mg/l (48hr)
藻類	:ErC ₅₀ 155 mg/l (72hr) :NOEC 31 mg/l (72hr)
残留性・分解性	:データなし
生体蓄積性	:ピカルブトラゾクス:BCF 496(4.04µg/L,Bluegill,29Days) n-オクタノール／水分配係数(LogPow) 4.16 (25°C)
土壌中の移動性	:データなし
オゾン層への有害性	:有害性:分類できない 影響:モントリオール議定書に指定された物質を含有しない。
その他	:追加情報なし

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせて薬液を調製し、使い切る。容器の洗浄水等は河川に流さない。
都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後処分する。

14. 輸送上の注意

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輦、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類	:なし
国連番号	:なし
国内規制	
海上規制情報	:非危険物
航空規制情報	:非危険物
陸上規制情報	:非危険物

15. 適用法令

農薬取締法	:登録番号 第23955号
消防法	:非該当
労働安全衛生法	:非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	:非該当
毒物劇物取締法	:非該当

16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。
使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献:1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会

- 3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会
- 4) GHS文書 改訂第6版(2015年)

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大 阪 (年中無休、24時間) 一般市民向け相談電話(無料) 072-727-2499

医療機関専用有料電話 072-726-9923

つくば(毎日9時~21時) 一般市民向け相談電話(無料) 029-852-9999

医療機関専用有料電話 029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。